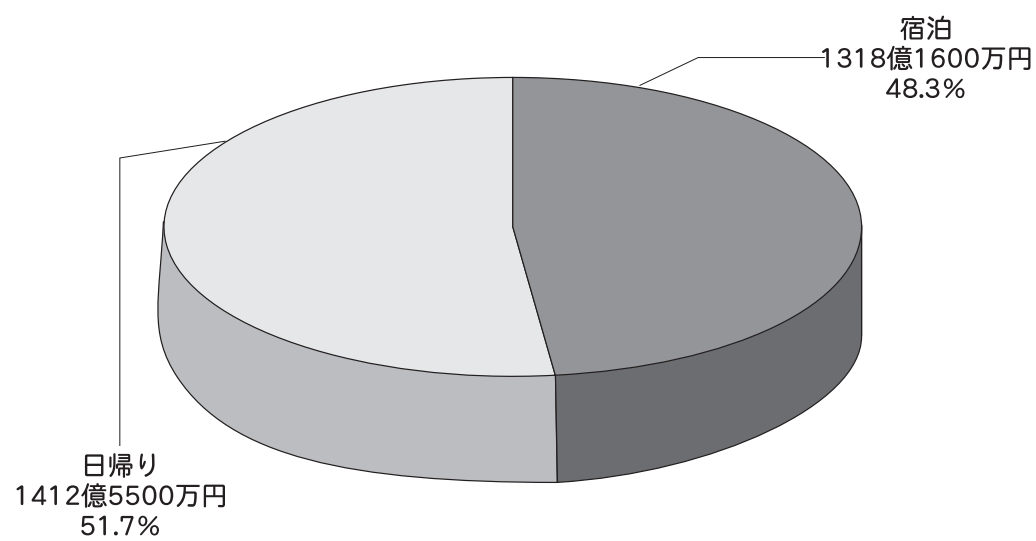


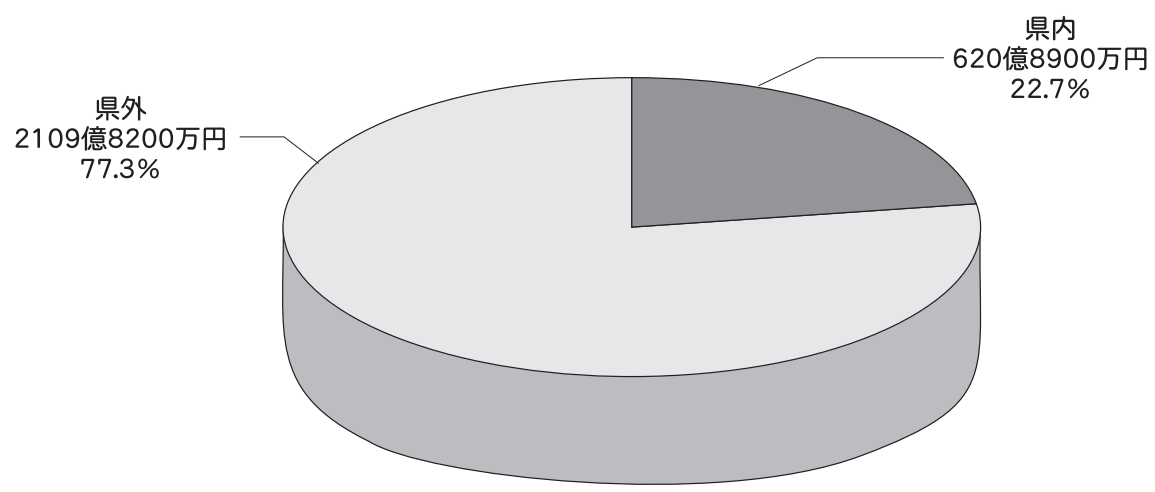
入込客数は8%増の6181万人

平成28年「茨城の観光レクリエーション現況」

◇日帰り・宿泊別観光消費額 (%は構成比)



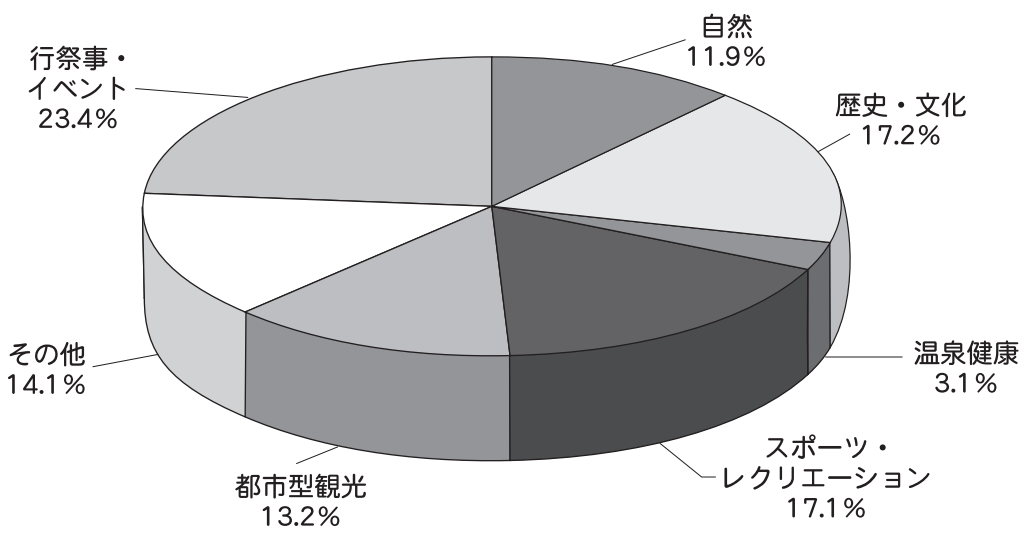
◇県内外別観光消費額 (%は構成比)



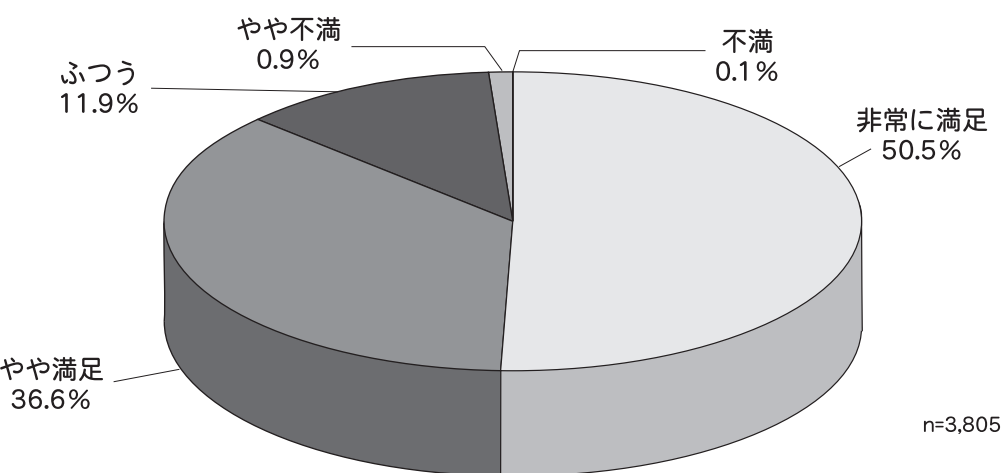
◇訪問目的別構成比

(単位: 千人)

分類	自然	歴史・文化	温泉健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光	その他	行祭事・イベント	計	
入込客数 (千人)	1-3月	1,350	2,784	492	2,109	1,855	1,705	3,415	13,710
	4-6月	1,981	2,990	448	2,869	2,167	2,162	2,186	14,803
	7-9月	1,508	2,031	483	3,026	2,008	2,497	5,744	17,297
	10-12月	2,502	2,825	490	2,559	2,121	2,359	3,143	15,999
	計	7,341	10,630	1,913	10,563	8,151	8,723	14,488	61,809
入込客数の構成比	11.9%	17.2%	3.1%	17.1%	13.2%	14.1%	23.4%	100.0%	
地点数	16	50	17	59	12	22	168	344	



◇満足度別構成比(総合評価)



◇本県における観光に対する満足度

(単位: 千人)

	非常に満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	計
総合評価	50.5 (%)	36.6 (%)	11.9 (%)	0.9 (%)	0.1 (%)	100.0 (%)
観光施設	48.5 (%)	35.5 (%)	14.2 (%)	1.7 (%)	0.1 (%)	100.0 (%)
食事	34.2 (%)	32.7 (%)	29.9 (%)	2.6 (%)	0.6 (%)	100.0 (%)
宿泊施設	43.9 (%)	30.0 (%)	23.5 (%)	2.1 (%)	0.5 (%)	100.0 (%)
おもてなし	34.7 (%)	37.1 (%)	27.1 (%)	1.0 (%)	0.1 (%)	100.0 (%)
トイレ	27.4 (%)	31.0 (%)	35.6 (%)	4.4 (%)	1.6 (%)	100.0 (%)

茨城県は8月24日、「茨城の観光レクリエーション現況(平成28年観光動態調査報告)」を公表した。これによると、平成28年の同県の入込客数(延べ人数)は、前年比8.4%増の6181万人9千人だった。調査形式が現在の形式になった平成23年以降では最多だった。観光消費額は1.3%増の2731億7100万円。

調査は昨年1~12月に実施。四半期ごとに市町村が観光地点や行祭事・イベントの管理者等に対して調べる「観光地点等入込数(延べ人数)調査」と、県内15観光地点を訪れた観光客を対象に四半期ごとにアンケートを行い、属性別の構成比などを算出する「観光地点パラーメータ調査」の2形式で行った。

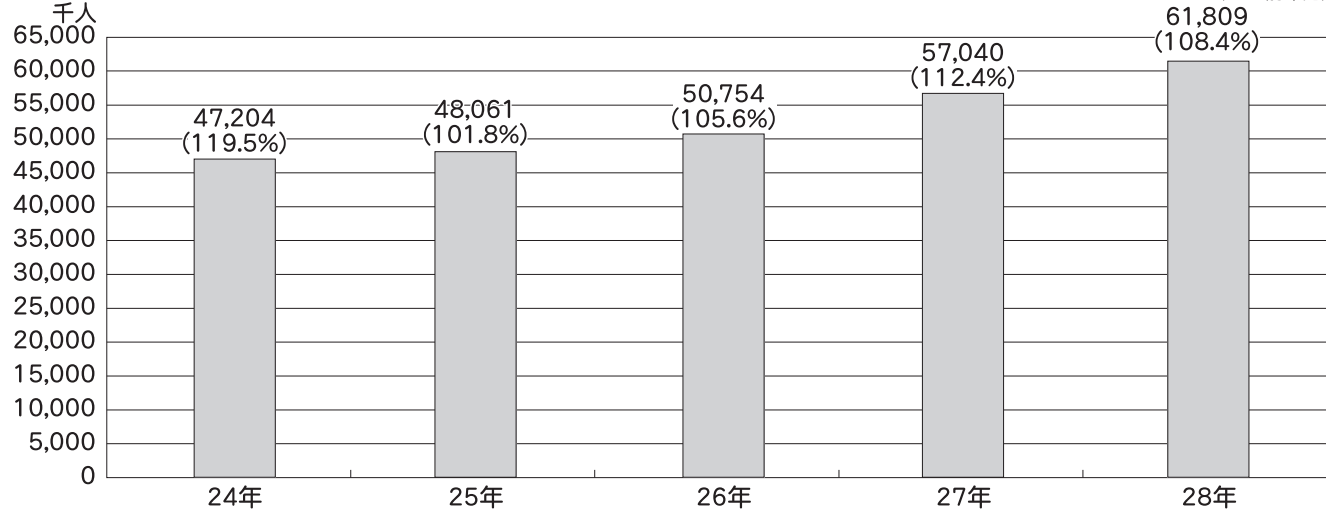
入込客数の増加要因として「同県観光物産展は、県北芸術祭や道の駅ひたちおわた、道の駅菅野大宮などの新規開催、オープンした地点が調査対象の観光地点に追加されたことに加え、道の駅しもつまや筑波山といった従

消費額は1.3%増、2731億円 9割近い観光客が「満足」

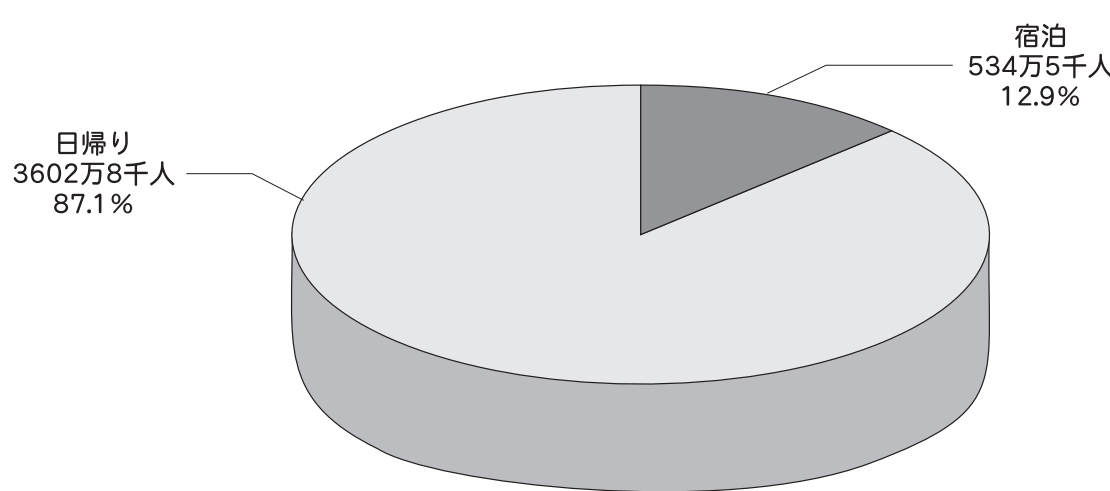
来からの観光地点やイベントでも入込客数が増加したことをあげる。「都市型観光」が8.1%増の141万人、「歴史・文化」が13.2%増の106万人、「自然」が11.9%増の734万人、「温泉健康」が3.1%増の191万人、「スポーツ・レクリエーション」が17.1%増の1056万人、「その他」が14.1%増の872万人、「行祭事・イベント」が23.4%増の1448万人と、9割近い観光客が満足していることが分かった。

1448万人、構成比23.4%だった。以下「歴史・文化」が106万人(17.2%)、「スポーツ・レクリエーション」が1056万人(17.1%)、「自然」が734万人(11.9%)、「温泉健康」が191万人(3.1%)、「その他」が872万人(14.1%)、「行祭事・イベント」が1448万人(23.4%)と、9割近い観光客が満足していることが分かった。

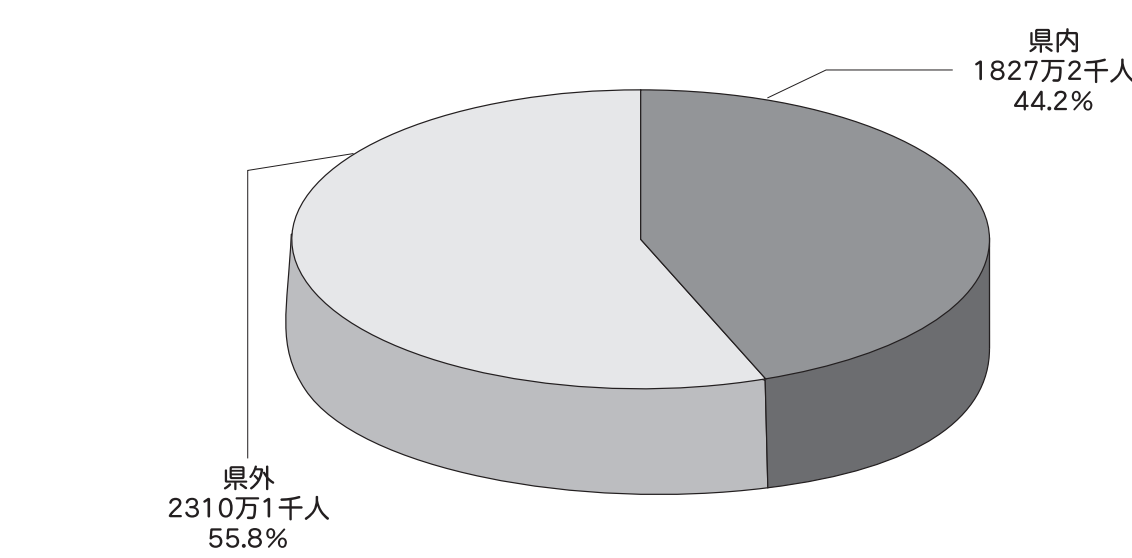
◇入込客数(延べ人数)



◇日帰り・宿泊別入込客数 (実人数、%は構成比)



◇県内外別入込客数 (実人数、%は構成比)



◇観光入込客数(実人数)・観光消費額推移

